

人文社会学部 経営学科（通信教育課程）

教育方法と教育の特色ある工夫

【教育方法】

建学の精神に則り、ビジネスの分野で求められる実践的な知識や技術を幅広く学ぶことができるよう、多様な分野の授業科目を設定しています。また、それらを段階的かつ体系的に学ぶための案内として、「経営・会計モデル」「経営・教養モデル」「経営・資格モデル」「経営・教員免許モデル」という4つの履修モデルを提示し、授業を展開しています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 経営学科通学課程の教育内容を踏まえつつも、通信教育課程における授業・学修形態等の特殊性を鑑み、社会人入学者等の要求にも応えられるようカリキュラムを編成しています。
- ・ 教育職員免許・資格取得を目指すため一部科目を履修する科目等履修生、通学課程から異動してきた転籍生、2024年度からは専門学校の学生が通信教育課程を同時に学ぶ併修生等、様々な学生が在籍しています。
- ・ 通信教育課程担当教員と通信教育部事務局スタッフとが協働する通信教育課程改善ワーキンググループによって種々の改善・工夫に努めています。具体的な成果としては、以下のような事項があげられます。
 - ① 本学の授業支援システム「manaba course2」内に「【通信】学修支援室」を設け、学修に関わる様々な最新情報や教材を配信しています。また、電子ファイルによるレポート提出に対応しています。
 - ② 新入生ガイダンス・学修相談会を開催する等、充実したサポート体制を整えています。また、学生と大学との絆をより確固としたものとするため、「通信教育ニュース」を年2回発行しています。
 - ③ 動画配信システムを利用して、「動画シラバス」や「レポート作成法」をコンテンツとして配信しています。また、一部スクーリング科目にてメディア授業を実施しています。
 - ④ 放送大学・サイバー大学との単位互換制度を活用し、卒業に必要な単位を一部代替することができます。